

報道機関各位

2016年7月15日

株式会社エヌビーイー健康研究所との新規感染症治療薬創製を目指した 共同研究契約ならびに優先的交渉権取得に関する契約締結のお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」と）と株式会社エヌビーイー健康研究所（本社：札幌市北区、代表取締役：高山 喜好、以下「エヌビーイー社」）は、新規低分子感染症治療薬創製を目指した共同研究契約を締結するとともに、エヌビーイー社と国立大学法人北海道大学（総長：山口 佳三、以下、「北海道大学」）が進めている感染症領域における共同研究に参画する優先的交渉権を取得しましたので、お知らせいたします。

エヌビーイー社は北海道大学構内に拠点を構える創薬ベンチャー企業です。

本契約の締結に基づき、塩野義製薬が北海道大学構内に保有する「シオノギ創薬イノベーションセンター」の一部研究施設をエヌビーイー社に提供し、新規低分子感染症治療薬の創製を目指した共同研究を推進してまいります。さらに、エヌビーイー社と北海道大学がシオノギ創薬イノベーションセンターで推進する、感染症領域における共同研究への参画に関する優先的交渉権を取得します。

塩野義製薬は、シオノギ創薬イノベーションセンターを拠点として、北海道大学と10年間の産学連携プロジェクト「未来創薬・医療イノベーション拠点形成」事業（2006年7月～2016年3月）に取り組みました。その結果、大学のシーズ・技術・設備を活用し、感染症、脂質、糖鎖研究のそれぞれにおいて、新規抗インフルエンザ薬（S-033188）の薬効評価、代謝性疾患・新規ターゲットの探索、肝疾患・臨床バイオマーカー探索などの研究成果を挙げてまいりました。塩野義製薬は、同事業後も、北海道大学で構築された産学融合ライフイノベーションセンター（センター長：前仲 勝実）にエヌビーイー社とともに参画し、当社の産学連携の礎を築いた北海道大学を舞台に、当社が重点疾患領域と定めております感染症領域において、人々の健康を守る画期的な治療選択肢の提供、世界中の医療に貢献できるよう取り組んでまいります。

塩野義製薬は50年以上にわたり革新的な感染症治療薬の研究開発並びに販売をおこなっています。「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という企業理念のもと、創薬型製薬企業として成長することを経営目標として掲げ、自社の創薬研究に加え、国内外のアカデミアや企業との連携も積極的に推進することで今後も革新的な新薬を継続的に創出し、世界中の皆さまの健康とQOLの改善に貢献できるよう努力してまいります。

以上

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885

【株式会社エヌビーイー健康研究所について】

抗体製造プラットフォーム（MoGRAA™ ディスカバリーエンジン）をコア技術として、創薬支援事業を展開しながら、呼吸器疾患、感染症、慢性炎症ならびに中枢疾患領域に関する新薬候補を創出するバイオテクノロジー企業です。日々、「新しい医薬品のコンセプト」を生み出す“創薬力”と“創薬技術”を磨き「患者の視点」「医師の声」に耳を傾けることで、本当に求められている薬をいち早く臨床現場に届けるための研究開発を進めております。

創業 2006年7月

本社所在地 札幌市北区

代表取締役 高山 喜好

お問い合わせ先 事業開発 清水 朋子

TEL 011-708-7156

URL <http://www.nbhl.co.jp/>